

エゾシカの採食圧の把握に関する広域植生調査（海岸部）

資料名	知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書
調査主体	環境省
評価項目	3．遺産登録時の生物多様性が維持されていること 6．エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと
管理目標	遺産登録時（現状並み）時点の生態系の状態を維持
モニタリング項目	特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握
評価指標	在来種の種数と種組成、採食圧への反応が早い植物群落（ササ群落 etc.）の属性（高さ・被度など） 外来種の分布及び個体数、登山道沿いの踏圧状況
評価基準	在来種の種数と種組成：1980 年代の状態へ近づくこと ササ群落 etc. の属性：1980 年代の状態へ近づくこと 外来種は根絶もしくは登録時より縮小、踏圧が拡大していないこと

<平成 20 年度までの具体的調査手法>

2005 年から 2008 年にかけて、以下の場所において面積 1 m²から 4 m²の方形区を設置し、優占度、群落高を測定した。また、標高や傾斜などの立地環境も記載した。

- 2005 年調査 3 カ所（羅臼側）
- 2006 年調査 12 カ所（斜里側）+ 14 カ所（羅臼側）
- 2007 年調査 15 カ所（羅臼側）
- 2008 年調査 26 カ所（斜里側）
- 2008 年までの合計
 - ・斜里側 38 カ所
 - ・羅臼側 32 カ所

<平成 20 年度までの具体的調査データ例>

2008 年までに調査された 70 地点の方形区において、全体で 133 種が確認された。各年度ごとの調査結果の概要を以下に示す。

○ 2005 年度・2006 年度

オオイタドリ、クサヨシ、オドリコソウ等にシカの採食痕が見られた。また、シカ道や糞も確認された。特に羅臼側の海岸断崖斜面下部に分布している高茎草本群落にはシカが容易にアクセスでき、採食圧にさらされていることが確認された。同時に、海岸断崖上部から在来種（高茎草本）の種子等が供給されることにより、シカに採食されても新たな個体の再定着が可能であることが示唆された。シカの採食圧を強く受け減少したと考えられる高茎草本群落は、斜里側と羅臼側の海岸部分に点在して残されていることが観察された。ただし、個々の分布地点における分布量は必ずしも多くなかった。

○ 2007 年度

エゾノヨロイグサ、マルバトウキ、オオヨモギ、オオイタドリ、クサヨシ、オドリコソウ、エゾヒナノウスツボ、ネムロスゲ、チシマカニツリ、コウゾリナ等にシカの採食痕が見られた。また、シカ道や糞も確認された。また、カブト岩の手前ではエゾオオバコにセイヨウタンポポが混生する、知床岬の根室側によく似た植生

が観察され、シカの採食圧が著しいことが推察された。

崩浜、観音岩手前、剣岩からメガネ岩間、念仏岩周辺、カブト岩から赤岩間においては、高茎草本群落が残存していた。ガンコウランを主体とする風衝地群落も点在するが、羅臼側では全般にその規模が小さかった。

○ 2008 年度

各所でエゾノヨロイグサ、ナガボノシロワレモコウ、ナガバキタアザミ、エゾノユキヨモギ、エゾノシシウド、エゾノコギリソウ等に採食痕が見られた。また、シカ道も確認された。

また、特筆すべき点として、風穴植生が確認されたことと、カムイワッカ川右岸においてシカの影響をほぼ受けていないと推察される高茎草本群落がまとまって残存していたことである。前者では岩礫上にトドマツが生育しているものの、その中心部にはトドマツを欠く直径 100m 程度の円形の裸地があり、調査地点はトドマツ分布域の下部に近い汀線間際に設定された。ここは、岩塊の隙間にある冷気の吹き出し地点を中心とした場所がガンコウランによって密に覆われ、汀線間際の岩峰上の気温が 25.4 であつたのに対して、その噴出し地点の気温は 8.6 と著しく低かつた。こうした風穴地は、知床半島の多様な植物群落の一形態を示すと考えられ、トドマツを欠く裸地部分を含めて全貌の把握が必要といえる。後者はその広さは 1 ha 程度であつたが、エゾノヨロイグサ、エゾノシシウド、オニカサモチ、ホタルサイコ、ゼンテイカ、ススキ、アキタブキ、ナガバキタアザミ等が豊富に生育しており、保存状態のよい海岸高茎草本群落であつた。

< コメント >

・ 斜里側、羅臼側ともにエゾシカの採食圧が植生に影響を与えていることが観察されたが、シカの接近が難しい立地においては高茎草本群落等が良好な状態で保存されていることも確認された。

・ 2006 年に斜里側の観音岩付近のガンコウランが岩峰にわずかに張り付いている場所において、明らかに近年と思われる盗掘跡が確認された。

・ 2009 年には斜里側のカシュニの滝～カムイワッカ川間の補足的な調査区の設置と調査を実施する。

< 評価 >

2008 年度までの調査はモニタリングサイトの設置を行ったものであり、具体的な評価は困難。